

授業科目	科目概要・形式	配当年次	オンライン参加
保健医療福祉統計学基礎	2単位30時間(16コマ) 講義科目	博士前期1年次 前期開講	☑・不可
科目責任者	松村 健太		
担当者	松村 健太、對馬 栄輝 (非常勤・弘前大学)		
<p><b>1. 科目のねらい・目標</b></p> <p><b>ねらい:</b> 保健・医療・福祉系の調査・実験研究において、得られたデータを適切に分析し、解釈できるようにする訓練をします。</p> <p><b>目標:</b> データを読み解き、計算して値を確かめることによって、自分の言葉でデータの意義を説明できるように進めます。</p> <p>1～8回は統計学の基本的概念の理解と解析入門に、9～16回は高度な統計学に取り組みます。</p>			
<p><b>2. 授業計画・内容</b></p> <p>1～8回【松村健太】  <u>統計学の基礎:</u> データの要約、大数の法則と中心極限定理、母数≠n数、区間推定、仮説検定(フィッシャー流 vs. ネイマン・ピアソン流)、<math>\alpha</math>水準・<math>\beta</math>水準・効果量・n数の関係、など  <u>データ解析入門:</u> 区間推定、t検定、分散分析、相関分析、回帰分析、<math>\chi^2</math>検定、ロジスティック回帰分析、など</p> <p>9～16回【對馬栄輝】  <u>統計学の応用:</u> 1元配置分散分析、反復測定による分散分析、分割プロットデザインによる分散分析、重回帰分析、多重ロジスティック回帰分析、等。</p>			
<p><b>3. 教科書、参考書</b></p> <p>&lt;教科書&gt;  對馬栄輝, 石田水里. 医療系データのとり方・まとめ方 第2版 実験計画法と分散分析. 東京図書, 2021 (ISBN 978-4-489-02361-3)</p> <p>&lt;参考書&gt;  白戸 亮吉, 鈴木 研太. ていねいな保健統計学 第2版 羊土社, 2022 (ISBN 978-4-7581-0976-5)</p>			
<p><b>4. 成績評価方法</b></p> <p>授業での演習・課題提出 (90%)、授業の参加度 (10%)。</p>			
<p><b>5. 受講要件</b></p> <p>PCを使用できる環境。授業や課題作成に用いるため。</p>			
<p><b>6. 社会人学生に対する配慮</b></p> <p>双方向型の完全オンライン授業 (zoom)、あるいは対面とオンラインを組み合わせたハイブリッド型での授業を行います。また、一部オンデマンドやWebexのスペースを活用することを予定しています。</p>			
<p><b>7. その他</b></p> <p>「統計学」は大学院における研究を進めるための重要な基盤となります。もし、今回初めて学ぶ場合あるいは学部で学んできた内容に不安がある受講生は、初回の講義までに、参考書に指定している「ていねいな保健統計学」の1~4章を一通り読んできて下さい。</p>			